

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【城北中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎学力のばらつきや応用力不足、自主学習の定着が課題。 <指導上の課題> 個別指導の難しさ、学習成果の可視化不足。	<学習上の向上策> AI活用等により個別最適な学びを促進し、いつでも疑問を問える環境を整備。単元テストを充実させ、定着度の確認の頻度を上げる。【教科毎に適宜】 => <指導上の向上策> 学習データを分析し、個別指導を確立。探究学習や実験を増やし、応用力を強化。ミライシード等で自主学習環境を整備。【毎朝】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 論理的思考の弱さ、表現力の不足、説明力の未熟さ。 <指導上の課題> 探究型学習の不足、討論・発表の機会減、実社会との結びつき不足。	<学習上の向上策> PBLを導入し、問題解決力を育成。記述式問題の演習を強化し、論理的思考を伸ばす。討論の場を増やし、表現力を向上。【教科毎に適宜】 => <指導上の向上策> 学校行事等を活かして学びの実感を強化。協働学習を促進し、思考の深化を支援。探究型学習を継続し、主体的な学びを支援。【学校行事・総合】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)